

## イオン1%クラブティーンエイジアンバサダー 日本政府や中国大使館を表敬訪問

7月14日～19日にかけて行われた2025年度 日本・中国ティーンエイジアンバサダー日本プログラムに本校の生徒が参加し、表敬訪問や交流活動などを行った。本面ではその様子を写真とともに紹介する。

イオン1%クラブは、イオングループ各社が毎年収益の1%相当額を拠出し、社会貢献活動に取り組んでいる。同クラブは、日本で企業による社会貢献活動が未だ本格化していなかった1990年に設立され、今では公益財団法人として「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という理念のもと、活動を行っている。

同クラブでは、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として活動している。活動例としては、アジア各国の高校生が英語を共通言語として議論を重ね、解決法を提案するプログラム「アジアユースリーダーズ」等が挙げられる。

## イオン1%クラブティーンエイジアンバサダーとは？

今回本校に来校した中国の生徒は、ティーンエイジアンバサダーの参加生徒である。ティーンエイジアンバサダーは、日本と海外の高校生が互いの国を訪問し、国際的な相互理解と交流を深める交流プログラムである。文化や伝統の異なる同世代の若者たちが小さな大使となり、表敬訪問、交流活動、歴史文化活動の3つの活動を通じて交流する。普段入ることのできない大使館や外務省などの国の施設の訪問がプログラム内容に含まれている。  
(イオン1%クラブHPより抜粋)

7/15 (月)

日本政府表敬訪問  
国会議事堂(衆議院)の参観

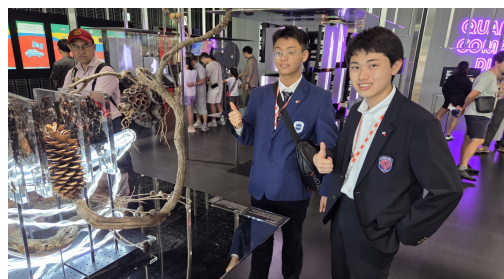


中国大使館表敬訪問、交流会



7/16 (火)

明治記念館で外務省セミナー受講  
日本未来館訪問



飛行機で東京から北海道へ  
ホテルエミシア札幌泊

発行 開成中等新聞局  
発行責任者 阿部 三上  
新聞局顧問  
制作者 小川

7/17 (水)

小樽市訪問、サンドブラスト体験



北海道庁訪問

7/18 (木)

授業・放課後活動体験



7/19 (金)

報告会



# 開成校新聞

## 中国のプログラム参加生徒が来校 歓迎会で踊りを披露

7月18日の放課後、イオン1%クラブのティーンエイジアンバサダーの参加生徒である、中国の長沙南雅中学の生徒10名が来校し、歓迎会がカフェラウンジで行われた。本面では、歓迎会の様子と、来校した中国のプログラム参加生徒と本校のプログラム参加生徒、引率した本校の教員への取材内容を紹介します。

歓迎会では、両校の先生と中国の代表生徒がスピーチを行った。スピーチを行った後、中国の生徒が本校の西村校長に贈呈品を贈呈し、事前に準備していた踊りを本校の生徒の前で披露した。

歓迎会の後半には、国際交流班による中国の生徒と本校の生徒と一緒にラジオ体操を踊る企画が行われ、異文化交流の機会が設けられた。本校の歓迎会参加者には1年生の姿も見られ、学年を問わず生徒達が積極的に国際交流に参加している様子が伺えた。

▼中国の代表生徒がスピーチを发表する様子



▲事前に準備した踊りを披露する中国の生徒



本校のプログラム参加生徒 4年生 村口陽子さん

Q1 今回、このプログラムに参加して学んだことはありますか。

A1 今回私はホームステイを受け入れる側での参加で、その中で少し不快に思うことがありました。しかし、それをあえて受け入れるということ、自分の形を崩さずに相手と接することが、ホームステイの受け入れで大切なことだと思いました。

Q2 次は10月に中国に行く側になると思うのですが、今回の中国の生徒との交流を通じて活かしたいことはありますか。

A2 個人的には自分のポンコツな部分を改めて実感したため、そこを直したいと思いました。それ以外では、今回の交流で、中国について勉強しきれていない部分があり、十分に中国の文化や伝統の知識を活かせなかったと感じています。そのため、他国の人と交流したり、他国を訪れたりする際は、事前に相手の国の文化や歴史について知ることがよりよい経験になると思います!

\*\*\*

中国のプログラム参加生徒 Yurong Pengさん(16)

Q1 このプログラムに参加しようと思った理由を教えてください。

A1 私は中国茶が好きなので、日本茶がどのような物であるかも知りたいなと思ったからです。オンライン上で茶道の動画もよく見ているので、日本茶に興味があるため参加しようと思いました。

Q2 日本に来て感じたこと、またこのプログラムに参加して学んだことはありますか。



▲村口陽子さん(前)とプログラム参加者の安田乃々さん(後ろ)

A2 日本の方々はとてもフレンドリーで度胸のある人が多いなと感じました。さらに、日本の方々の英語は素晴らしい、技術がすごく高いと思いました。また、このプログラムに参加して、参加理由であったお茶に触れる



▲インタビューに答えてくれたYurong Pengさん

ことができ、お茶の飲み方を学びました。他にも、日本の学生と交流する中で、多くの日本の友達を作ったり、日本の文化について学んだりすることができました。

Q3 開成で楽しかったことはありますか。

A3 茶道に興味があったため、茶道体験がとても楽しかったです。茶道に実際に触れたことはなかったため、新しい体験となりました。

\*\*\*

引率をした本校の教員 三上全先生

Q1 このプログラムの魅力はどのようなところだと思いますか。

A1 イオン1%クラブが旅費などを全て負担してくれることや現地の人と交流できることだけでなく、互いの国の首相官邸や政府、大使館の訪問を通して、外交の第一線で活躍している政治家や外交官の人々と交流できることが魅力だと思います。

Q2 教員目線で、今回のプログラムで生徒にとっての学びはどのようなことだったと思いますか。

A2 今回は中国プログラムということで、実際の日中の外交関係は良いとは言いがたい中、日中の国民がお互いにどのような印象を持っているのかを体感できるということが最も学びになったと思います。